

北部水源地域 親子 マングローブ 植樹

去った平成17年12月17日、大宜味村白浜区塩屋湾内において、「北部水源地域親子マングローブ植樹」を行いました。このイベントは、北部水源地域周辺に植樹を行うことで、自然環境ならびに河川環境の創出に役立てると共に、北部水源地域の自然や水環境の重要性について関心を高めてもらうことを目的としており、那覇市内在住・在勤の小学生親子約60名が参加しました。

多少肌寒い中でしたが、参加者全員が一生懸命植樹をし、最後は現地スタッフが準備してくれた焼きイモをばおぱりながら、全員でカチャーシーを踊るといっても楽しいひと時を過ごしました。



大きく立派に育つことを願いながら、お父さんと力を合わせて一生懸命でいねいに植えました。



塩屋湾には生き物がいっぱい♪カニや貝もたくさんつまえました!!



最後はサンタクロースからお菓子と三線演奏のプレゼント!! みんなで一緒にカチャーシーを踊りました!

今年も各種イベントを予定中!! お問い合わせは…企画経営課 TEL 832-4173

シリーズ 第3回 那覇の井泉(湧き水)

那覇市は古来から飲料水に乏しい地域で水道ができる以前は天水(雨水)、井戸(カー)や樋川(ヒージャー)が水源として人々の生活を支えていました。

井戸(カー)や樋川(ヒージャー)を総称して井泉(せいせん)といい、那覇市内には約120ヶ所の井泉があります。中でも金城町石畳周辺には文化財に指定されているものがいくつかあります。

(資料提供:那覇市文化財課)

首里金城町周辺マップ



シチヤアガリジョウガイ 下又東門ガ-

18世紀の『首里古地図』(県立図書館蔵)にはこの井戸の位置に○がつけられています。小型の井戸ですが、わりと均斉がとれ、まわりは風情があります。地域住民の飲料水だけではなく、日常生活でも深く関わっている井戸です。



イーヌアガリジョウガイ 上又東門ガ-

18世紀の『首里古地図』(県立図書館蔵)にも記されている井戸です。首里の古い共同井戸の形式を留めており、石組みも精巧で均斉がとれています。近年まで、旧暦9月に行われた民俗行事のウマーチヌウグワン(防火災祈願)の拝所のひとつとなっていました。

今回は、金城町の金城橋の北東、およそ120mの斜面にある共同井戸で、古くから地域の人々と深い関わりのある井戸二カ所を紹介します。